

長浜の巨匠 山縣岐鳳

日本画の美 再発見!

山縣岐鳳って、
どんな人?

2017
10.7 土 ▶ 11.12 日

展示説明会
〈要入館料・申込不要〉

日時: 10月28日(土) 13:30~
場所: 曳山博物館 1階展示室

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

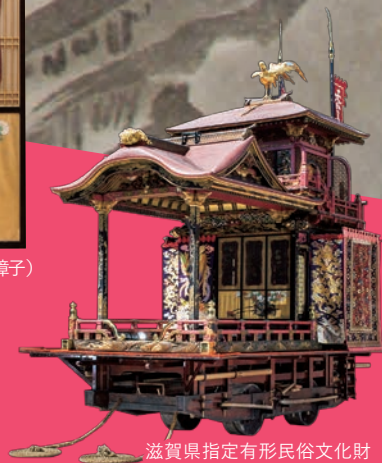
曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON St. AND HAKUBTSUKAN Ave.

- 開館時間: 9時~17時 (入館は16時30分まで)
- 入館料: 大人600円、小中学生300円
(団体20名様以上2割引) ※長浜市・米原市の小中学生は無料
- 主催: 公益財団法人長浜曳山文化協会



滋賀県指定有形民俗文化財 花車図(鳳凰山舞台障子)
祝町組鳳凰山蔵



滋賀県指定有形民俗文化財 鳳凰山

龍虎図屏風(部分) 個人蔵



長浜大手門通り
茂美おや

☎ 0749-62-0232

のっぺいうどん

長浜市元浜町 7-15

定休日: 火曜日

<http://www.momiji-ya.jp/>

曳山を彩る絵師たち①

やまがたぎほう

長浜の巨匠 山縣岐鳳

日本画の美 再発見!

ユネスコ無形文化遺産「長浜曳山祭」。この祭を彩るものが人びとを惹きつけてやまない曳山の装飾品です。この内のひとつに、歌舞伎を演じる舞台障子絵をはじめとする絵画があります。「動く美術館」として知られる長浜の曳山ですが、どんな人物が、どんな絵を描いたのか、曳山を飾る絵やその絵師についてはあまり知られていません。

本企画展では、こうした曳山を彩る絵師の一人であり、来年の祭りに出場する高砂山と鳳凰山の舞台障子絵を描いた山縣(大塚)岐鳳(1776-1847)について紹介します。

狩野派の画家・山縣頼章の子として生まれた岐鳳は、京都から長浜へ移住し、湖北を中心に多くの絵画作品を残しました。中でも天女を鮮やかに描いた大通寺山門の天井画や曳山の装飾品といった大作に携わり、当時の長浜を代表する人気画家であったことが分かります。

今回は、曳山を彩る絵画のほか、仏画や大和絵、龍や山水を描いた水墨画といった幅広い画業をみせる岐鳳作品を通じ、日本美術の魅力についてふりかえります。普段の生活の中で、なじみが薄くなってしまった日本画には、何が(絵の画題)、どのように(絵の様式)描かれているのか。こうした日本画の見方に着目し、地元絵師の作品を糸口に日本美術の世界に飛び込んでいただければと思います。

本企画展を通じ、日本美術の魅力を再発見し、岐鳳作品をよりご堪能いただく機会となれば幸いです。



龍虎図屏風(部分)
個人蔵



滋賀県指定有形民俗文化財 牡丹小禽図(高砂山 舞台障子)
宮町組高砂山 蔵



龍図
個人蔵



旭鶴図
長浜市長浜城歴史博物館蔵



滋賀県指定有形民俗文化財 子英渡海図(孔雀山楽屋襖)
神戸町組孔雀山 蔵

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON St. AND HAKUBUTSUKAN Ave.

滋賀県長浜市元浜町14番8号

[TEL] 0749-65-3300 [FAX] 0749-65-3440

<http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/>

入館料			
	大人	小中学生	障がい者
個人	600円	300円	無料
団体 (20名様以上)	480円	240円	障がい者手帳 の提示で本人と 介護者1名

*長浜市・米原市の小中学生は無料

- 9時～17時(入館は16時30分まで)
- 休館日: 年末年始(12月29日～1月3日)



●JR長浜駅から徒歩7分 ●長浜ICより車で10分